

橋爪法一議員 入札・契約の仕組みを競争性のある公正なものに

総務常任委員会は9月13日と17日、予備日である18日の3日間にわたって所管する案件の審査を行名いました。

橋爪議員は、13日に行われた財務部所管の審査の中で「入札・契約事務」を取り上げました。

橋爪議員は、下表の入札結果の状況から、「入札不調件数が446件中47件と非常に多い。また入札不調後に最低応札者との随意契約（不落随契）の件数も多い。1位不動はどのくらいあるか」と質問。これに対して、平野課長は「9割以上が1位不動」と答えました。

橋爪議員は「1位不動だったものに対しては疑いを持ってしっかりと分析、チェックすることが大事だ。入札契約の仕組みをもっと民主的、公正、競争性のあるものにしていかなければいけない。内訳書についても落札者のチェックはもちろんだが、入札参加の他社との比較も必要だ」と入札・契約についての厳正な対応、改善を求めました。

笹川部長は、「1位不動については入札の結果であり、また工事額の積算については単価が並ぶことがあり、精度

(工事の入札結果の状況) 平成30年度決算資料

項目	H29年度	H30年度
落札等決定件数（随意契約含む）	443	446
1回目の入札・見積りで決定	410	386
再入札（2回目）等で決定	19	27
再々入札（3回目）等で決定	5	14
入札不調後最低応札者と随意契約	9	19
入札不調・中止件数	27	47
うち随意契約に移行したもの	9	19
うち改めて入札を実施したもの	18	26
うち事業を中止したもの	0	2

も上がっているので必ずしも談合ということにはならないのではないか」、「市民の税金ということであり、入札・契約のあり方については、公正にしていかなければならない。研究・検討はしっかりとしていく」と答えました。

非正規職員の待遇改善を評価しつつも 正職員減らしにつながる危険性を指摘

2日目の17日冒頭、会計年度任用職員制度に関する条例の一部改正について議論が交わされました。

橋爪議員は「条例改正は公務労働に対する大きな転換になる」として、まず合併時（2005年）と2019年の職員の状況について聞きました。中澤人事課長は「合併時正規職員は2367人、非正規は1167人だったが、現在は、正規職員1894人、非正規は1674人になっている」と答えました。橋爪議員は、「考えていた通り、流れとしては正規職員が減って、非正規が増加するという事になっている」とのべたうえで、今回条例改正によって非正規職員の処遇が改善される積極面を評価しながらも正規職員の減員と非正規職員の増加への懸念を表明しました。

質疑の中で、中澤人事課長は「毎年度定員査定を行い、その中で正規・非正規職員がやるべき業務を厳格に区分けをしている。単に、業務の期間や継続性によって判断されるものではない。業務の内容や責任などによって判断されるもの」、「保育園の職員は、児童を保育するという点では同じように見えるが、公務は広く深いもの」と、事故時や災害時の対応の違い、運営に関わる違いなどを例にあげました。

橋爪議員は、災害時や事故時においては、子どもを守るという点で正規、非正規などと言っていない。また運営に関してももっと非正規職員の声を積極的に聞くべきだ」とのべ、本来、正規職員扱いすべき人を非正規にとどめることに疑問を表明しました。

これに対して、北島課長は「民生委員の選出については、現在進行形で地域挙げて努力している。活動しやすいよう活動した。」

また、橋本議員は「ふれあいランチサービス事業」についても取り上げました。この事業は、1人暮らし高齢者など

に弁当を届け、1人ひとりに直接手渡すことによって定期的な安否確認を行う目的を持つている事業です。区によって週5日から7日配食と違いはありますが、一食につき400円（おかずのみは300円）で大変喜ばれています。

厚生常任委員会は9日と10日に開催されました。厚生常任委員会は、市民の暮らしや福祉、医療や環境、また子育てや保育園など身近な問題を所管する委員です。橋本正幸議員が所属しています。

橋本議員は、「民生委員・児童委員活動」を取り上げました。民生委員・児童委員、主任児童委員が欠員となっていることから、「欠員が生じていることによって、本来の活動に支障が生じているのではないかと市の対応状況を聞きま

した。橋本議員は、「民生委員・児童委員活動に対する新たな補助金創設についても北信越の市長会などを通して国に要望している。今後も、民生委員・児童委員の連合会で連携を図り活動しやすいよう努力をしていく」と答えました。

ふれあいランチサービスで 1人暮らし高齢者見守りを

動保証金の見直しや補佐的な役割を持つ協力員制度の構築などを検討している。

橋本議員は「配達の際に安否確認の声をかけるが、出てこなかったり何か安否に関わる事例はあったか」と質問。これに対して、三上課長は「件数はそれほど多くはないが、7月に室内で転んでいる人を発見、すぐヘルパーに連絡をし到着するまで配達員が見守るといったことがあった。幸い大事に至らなかったが、弁当の配達には他の人に依頼したという事例があった」と紹介。橋本議員は、「大事な事業なので安否確認などさらに充実してほしい」と求めました。



厚生常任委員会 橋本正幸 議員



総務常任委員会 橋爪法一 議員

日本共産党上越市議員団ニュース
 No.639 2019年9月22日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)